



東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1148 / 2013. 05. 31

例 会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2012～2013 年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

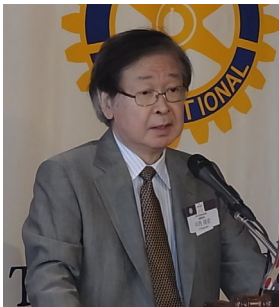
「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2013 年 5 月 31 日 第 1256 回

卓話：「東北復興と日本の安全」
防衛大臣政務官 参議院議員
佐藤 正久 氏

●前回報告/2013 年 5 月 24 日 第 1255 回例会

卓話：「現代マスコミの役割と問題
～自己反省をこめて」
前日本経済新聞 編集委員 中西 晴史 氏



卓話紹介者：石井会員

親睦委員会：(村山委員長)

6 月 28 日 (金) 18:30～夜間例会・打ち上げ会を開催いたします。打ち上げ会では、ラテン音楽の第一人者 MASAYO さんのリサイタルを企画しております。是非、ご出席ください。

国際奉仕委員会：(松本委員長)

2013 年度青少年交換派遣学生に、成蹊高校 1 年生の佐藤宏亮君を当クラブより推薦することになりました。5 月 22 日に、ご本人と会長、私とで面接をいたしました。佐藤君のお祖父さまは、当クラブのチャーターメンバーというご縁があり、当クラブから推薦することになりました。

幹事報告：

6 月 14 日 (金) は「本年度第 6 回・次年度第 1 回クラブ協議会」です。ご出席のほどよろしくお願い申し上げます。本年度の各委員長は活動報告書を、次年度各委員長は活動計画書を 6 月 7 日 (金) までにご提出をお願い申し上げます。

●次回予告/ 2013 年 5 月 31 日(金) 第 1256 例会

卓話予定：「東北復興と日本の安全」
防衛大臣政務官 参議院議員
佐藤 正久 氏

※6 月 7 日 (金) は、「福山赤坂 RC・東京赤坂 RC 姉妹締結&親睦旅行」の振替により休会です。

出席報告： 会員 44 名 / 出席 27 名 欠席 17 名

ゲスト： 中西晴史(卓話)

ビジター： 大野順也(東京南 RC)、寺田有子(鈴鹿西 RC)
計 3 名 (順不同・敬称略)



5 月 24 日(金) / 9 件 19,000 円

累計 1,018,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

尾関武男/本日は景観がすばらしいアリエスです。何か気持ちがスッキリしますね。中西先生、本日の卓話よろしくお願いします。西澤民夫/地区協議会に参加してきました。中西さん、本日は楽しみにしています。石井謙次/中西さん本日の卓話よろしくお願いします。河邊さんニコニコご苦労様です。小原健/”風光る 5 月”といのは、今日のような日のことですね。さわやかな日です。清水寛/解散から 1 ヶ月以上たち 5 月末で事務所を閉めます。毎日(週 4 日でしたが)行っていた場所がなくなるのは寂しいような。コンシニ/フランスでは先週、アルプス山で雪がふりましたが、日本はほぼ夏の気温になったでしょ。みなさん体を暑さから気をつけてください。佐藤仁/中西様お話しを楽しみにしています。河邊様ニコニコご苦労さまです。土屋東一/河邊さんニコニコご苦労さまです。河邊幸夫/今期最後のニコニコ担当です。みなさまたくさんさんのニコニコありがとうございました。

地区協議会報告(5月20日)

平成 25 年 5 月 20 日 (月) グランドプリンスホテル新高輪にて 2013～2014 年度国際ロータリー 2750 地区協議会が開催されました。朝 08:30 から受付が始まり 09:30 の会議スタートには「飛天の間」が満席になり、事務局の努力と参加したロータリアンの次年度にかける意気込みが感じられました。

分科会 I (西澤次年度会長)

分科会 I は会長部会で 2750 地区 (パンフィックベイスンを除く 8 グループ 96 クラブ) の会長を中心に 100 名超の参加者でした。リーダーは舟木いさ子ガバナーエレクトが、サブリーダーは松下昌夫次期戦略室長が務めました。テーマは“クラブから「新しい風を!!」”というもの。ロン・バートン RI 会長エレクトが「Engage Rotary, Change Lives = ロータリーに積極的にかかわると人生を豊かにする」と言っています。これを受けて、舟木会長エレクトは草の根で個人々人が新しい風を感じることができる活動を行う (地区運営の活動理念) ことによって、クラブの活性化をしましと発言。2750 地区の新しいクラブの設立予定は愛宕、フェローシップ E、代官山、グローバルの 4 つを予定して積極

的に会員増強・拡大を目指しています。(西澤記)

分科会Ⅱ (田村次年度幹事)

1. 「新年度への準備はいかがですか？」(R I 規定審議会関連事項を含む) ということ提出する

＊効果的なロータリークラブとなるための活動計画。

＊会員アクセスを登録し、クラブの管理運営に役立つデータを手に入れる。＊会員データとクラブデータを随時更新するために、クラブの幹事と会計が会員アクセスに登録したかを確認する。＊現年度のクラブ目標を実行し定期的に目標の見直しを行う。その際全てのクラブ会員に参加してもらい、情報が全員に行き渡るようにする。

2. 会のテーマで意見交換会

①クラブ運営について (出席率、卓話 etc)

②会員増強について

③財団について

④公共イメージについて (田村記)

分科会Ⅲ「新世代部会」(橋本次年度副会長)

次の世代を担う新しい風を起こすプロジェクトとして西澤宗英リーダー (東京渋谷 RC) のもとに部会が開催されました。1 班が 8 名で編成されて 8 班が活発にブレinstoーミングを実施しまして其々発表しました。私の班には麻布 RC の加藤会長が一緒でして熱く議論を展開致しました。内容はインターアクト・ロータリーアクト・RYLA・インターンシップ・青少年交換留学などの命題にどう取り組むかです。この会議に参加して思った事は、兼ねてから念頭に在りました東京赤坂ロータリークラブとして、インターンシップ事業でここ数年に高校生の受け入れを実施している都立芝商業を対象にインターアクトクラブの新設を目指したいとの考えを強く致しました。それと、五大奉仕としての新世代奉仕の重要性を再認識致しました。(橋本記)

分科会Ⅳ (奉仕プロジェクト村山副委員長)

今年度から奉仕プロジェクトではなく、奉仕プログラムとするとのことである。従来大きなウエイトを占めていた新世代委員会は、この委員会からは外されることになり、対象は狭くなったことは確かである。会は、委員長および主要項目に関係する委員からの一方的な説明で終始した。また、内容よりも、地区の委員をうまく利用するようにといった方法論的なことが強調されていた。従来の職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕といった分類はかげをひそめ、社会奉仕、国際奉仕だけが取り上げられていたように思う。分科会の最後になって、会場から、ロータリーの金看板である筈の職業奉仕についてはどうなっているのかとの質問が出て、会場に少しひんやりとする空気が流れたような気がした。(村山記)

分科会Ⅴ (ロータリー財団委員会 大日方委員長)

ロータリー財団への寄付と財団の補助金について説明がありました。財団への寄付は、年次基金への寄付、恒久基金への寄付、使途指定寄付があります。ポリオ・プラス基金への寄付は使途指定寄付です。年次基金に 1 千ドル寄付するとポールハリスフェローになります。恒久基金に 1 千ドル寄付するとベネファクターになります。恒久基金には毎年大口の寄付をする人がいて、第 2750 地区では今年 25 万ドル寄付した人がいたとのこと。年次基金への寄付は 3 年後に半額が地区補助金として地区に戻ってきます。クラブはこれを社会奉仕活動に使うことができます。残りの半額は国際財団活動資金としてプールされます。これはク

ラブがグローバル補助金の申請をして国際奉仕の活動に使うことができます。恒久基金は、その運用益だけが財団の運営資金やグローバル補助金の一部として活用されます。財団部会では、クラブに対して、年次基金に 1 人平均 150 ドルの寄付 (当クラブでは総額約 7 千ドルになります) をお願いしたい、地区補助金を積極的に活用して欲しい、という要請がありました。

(大日方記)

科会Ⅵ (会員増強委員会 高須委員長)

分科会Ⅵ会員増強部会はテーマを「会員増強・維持」、「クラブ活性化の要点」として約 100 名におよぶ参加者で行われた。リーダーは市川伊三夫地区研修リーダー、サブリーダーに司 葉子地区会員増強委員会委員長 (恵比寿 RC)、鈴木隆志氏 (西 RC) が務められました。次年度の地区重点目標の中で、会員基盤の強化を掲げている。地区全体目標として、純増 200 名以上とし、各クラブで考えると会員数 5%以上の増強となります。第 2750 地区の会員数の推移動向説明のあと、各テーブルごとに会員維持について、会員増強について意見を出し合い活発な意見交換する部会でした。

(高須記)

分科会Ⅶ (公共イメージ委員会 関副委員長)

冒頭舟木年度の方針について説明があり、積極的な PR 活動を推進することとされました。PR 活動の目的について質問したところ、「会員増強」のためであるとの明確な回答があったことを特記したいと思います。その後 5-6 名のグループに分かれてのディスカッションに移り、各クラブの奉仕活動とその PR 活動についての発表や、公共イメージ向上に向けた施策について意見交換しました。他クラブの活動で興味深かったのは小学校での盲導犬教室で、将来の会員候補とその父兄にクラブを知ってもらう良い機会になると思いました。また、今後のアイディアとしては、各クラブホームページへの入り口となる地区ポータルサイトの構築などの意見があがりました。(関記)

全体会議 16:00 分科会報告

国際大会について 次期国際大会推進委員長 首藤裕子 (2014 年 6 月 1 日、2 日、3 日オーストラリア シドニー)

第 12 回日韓親善会議

(2013 年 10 月 19 日 20 日 韓国ソウル)

「いよいよ本番」次期地区研修リーダー市川 伊三夫 閉会の言葉 ガバナーエレクト 舟木 いさ子

17:00 解散

以上ですべてのプログラムが終了いたしました。全般的には大変内容のある会議でした。舟木ガバナーエレクトが R I テーマ「Engage Rotary Change Life」で開催された R I ガバナー会議でロン D・バートン次期 R I 会長の言葉を理解して R I テーマに焦点をあてて 2750 地区方針「新しい風」を作り上げました。そのプレゼンテーションによってもよく纏まっていた。I R I テーマと R I 会長強調事項/Ⅱ R I 戦略計画の推進/Ⅲ 地区の推進事項/Ⅳ 会員基盤の強化/Ⅴ ロータリー財団への支援/Ⅵ ロータリー米山記念奨学への支援 etc また、舟木ガバナーエレクト初めての女性ガバナーということもあり、市川次期研修委員長、松下次期戦略室長などの人たちが全面的に支援している姿が印象的で、次年度が他の 3 4 地区が見習いたいと思われるような地区になるような気がします。(勿論、当クラブから次年度小原ガバナー補佐、吉岡グループ幹事を輩出していることもあります。)(田村記)